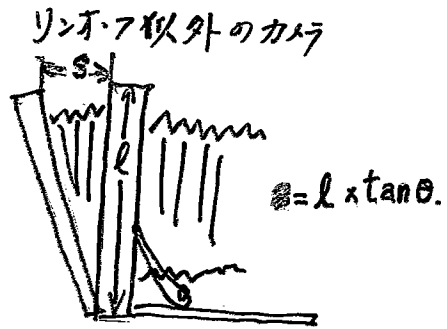
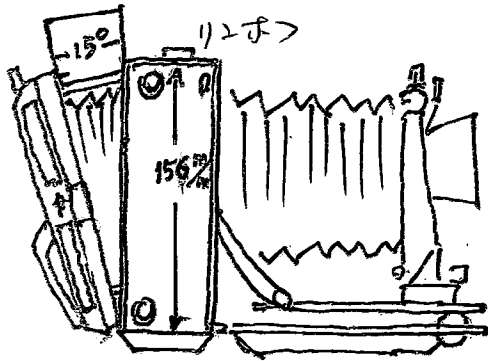


§ 2 リンホフテヒニカ (4x5) ティルト (スイング) 角度定規の使い方

リンホフの前板 (鳥居) を決められた角度にティルト (スイング) するのは至難の技です。そこで後部アオリを利用してティルト (スイング) 角を設定してからピント面 (フィルム) 面を元 (垂直) に戻して撮影します。左図からこのスケールをつくりました。他のカメラでは $L \times \tan \theta$ を目盛れば簡単に作れます。

$\tan \theta = 1^\circ = 0.0174551$ $2^\circ = 0.0349208$ $3^\circ = 0.0524078$ $4^\circ = 0.0699268$
 $5^\circ = 0.0874887$ $6^\circ = 0.1051042$ $7^\circ = 0.1227846$ $8^\circ = 0.1405408$ $9^\circ = 0.1583844$
 $10^\circ = 0.1763270$ $11^\circ = 0.1943803$ $12^\circ = 0.2125566$ $13^\circ = 0.2308682$ $14^\circ = 0.2493280$



§ 3 5x7判、8x10判や仮想平面の遠点、近点のピントガラス上での間隔を自由に設定する場合のティルト (スイング) 角の読取りグラフの使い方

仮想平面の遠近2点をピントガラス上に縦に選び、ピントのずれ巾を横軸に取ります。次に2点間のピントガラス上での距離に近い30、50、70、100、150、180mmの斜線との交点から縦軸ティルト角を読み取ります。同様に横の2点からスイング角を読み取ります

§ 4 一般的な大判カメラでのバック部でのティルト、スイング アオリについて

- 仮想平面の遠近2点間のピントのズレ.....d
- 仮想平面の遠近2点間のピントガラス上の間隔.....a
- カメラのバック部の開口部の長さ.....l
- バック部のアオリの開き.....S

$$S = \frac{l}{a} \times d$$

(2x) 5x7"
 a = 100
 l = 238 mm
 d = 9 mm
 フィルト (2) 5.3°
 2.38
 S = 21.4 mm

